

テーブルディスカッション

① 各クラブにおけるラーニングの現状

② ラーニングリーダーの役割について

8テーブルに分かれて、2つのテーマについてディスカッションを行った。

1. ラーニング研修の現状について

各クラブからラーニング研修の実施状況が報告された。歴史のあるクラブでは、ベテラン会員やチャーターメンバーを中心に、ロータリーの理念や経験が自然な形で継承されている一方、発足間もないクラブにおいては、研修体制が十分に整備されておらず、組織的な研修が行われていない現状が確認された。多くのクラブに共通する課題として、「ラーニングをどのように進めるべきか分からない」という声が挙げられた。

2. 新会員研修について

特に入会3年未満の会員を対象とした研修の重要性が指摘された。新会員はロータリーの基礎や活動内容について知りたいというニーズが高く、冊子（「これだけは知っておきたいロータリー」等）を活用し、例会前の時間や少人数での勉強会を実施しているクラブの事例が紹介された。また、研修終了後に懇親会を併せて実施することで、会員同士の親睦が深まり、クラブへの定着や退会防止につながっているとの意見が多数出された。

3. ラーニングリーダーの役割について

ラーニングリーダーは単なる知識の伝達者ではなく、クラブのビジョンや方向性を複数年度にわたり継続的に支える存在であるとの認識が共有された。会長任期が単年度であることを踏まえ、ラーニングリーダーが中長期的視点でクラブ運営を補完する役割を担うことの重要性が確認された。また、一人に固定するのではなく、複数人で役割を分担し、それぞれの得意分野を生かす体制も有効であるとの意見が出された。なお、リーダー自身にとっても学び直しの機会となる点が利点として挙げられた。

4. 研修内容および手法について

研修内容は、ロータリーの歴史や理念にとどまらず、人生経験や経営の考え方、社会奉仕活動が実際にどのように社会に役立っているかを具体的に伝えることが重要であるとされた。

一方的な講義形式ではなく、参加型・ディスカッション形式の研修が望ましいとの意見が多く、外部講師や地区経験者（PG等）を招いた研修が高い効果を上げた事例も報告された。

5. 総括

ラーニング研修は、新会員の定着、クラブの活性化、退会防止に直結する重要な取り組みであるとの共通認識が示された。今後は、統一的な教材やプログラムの活用、地区レベルでの支援も含め、各クラブが工夫しながら継続的に研修を実施していく必要があるとの結論に至った。